

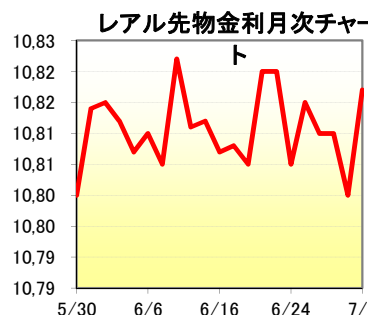
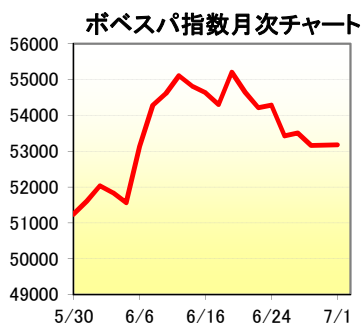
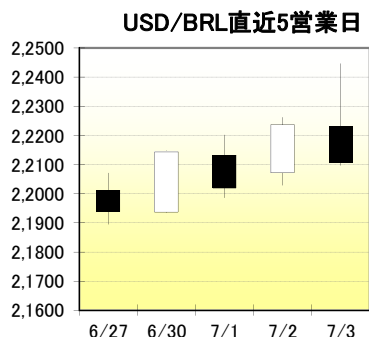
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			6月30日	7月1日	7月2日	7月3日	7月4日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,2140	2,2020	2,2240	2,2110	2,2150	+0,0040
	USD/YEN	Spot	101,32	101,56	101,79	102,20	102,18	-0,0200
	EUR/USD	Spot	1,3693	1,3679	1,3659	1,3610	1,3611	+0,0001
	BRL/YEN	Spot	45,76	46,12	45,78	46,23	46,19	-0,0400
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	0,90	0,82	0,91	0,87	0,87	u,c,
		1Year(p.a.)	1,13	1,05	1,07	1,04	1,04	u,c,
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,77	10,75	10,76	10,75	10,78	+0,0223
		1Year(p.a.)	10,89	10,84	10,86	10,86	10,85	-0,0086
Stock	Bovespa		53.168	53.171	53.029	53.875	53.891	+16,12
Bond	CDS Brazil 5y		143,90	142,30	145,88	145,83	145,83	u,c,
	Global 40		111,650	111,650	111,650	111,650	112,350	+0,7000

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
自動車生産台数	-0,60%	-0,74%	-0,13%	なし
自動車販売台数	--	-0,24%	-0,41%	
自動車輸出	90100M	87897M	105884M	

4. 週間市況、トピックス

- ・ 今週の為替相場はUS\$1=R\$2.1940で寄り付いた。
- ・ 週初のレアルは週間高値となるUS\$1=R\$2.1940で寄り付いたが、伯中銀が7月に満期を迎えるドル売り Swap ポジションを予想通り全てロールしないことが確認されたことを受けて8月分のスワップがどの程度ロールされるのかが市場で注目される展開となり、レアルは売りに転じた。
- ・ 翌1日にはレアルは2.2200まで続落したが、株式の上昇を背景にリスク資産買いの流れとなり、南米通貨は対ドルで総じて上昇した。
- ・ しかし週央にかけては伯中銀が8月に満期を迎えるドル売り Swap ポジションも全てロールしないとの見方が再度注目され、レアルは反落、じりじりと2.2200を下抜け下落した。
- ・ 更に翌3日の朝には6月の米雇用者が市場予想を上回る増加となったほか、失業率は6.1%と、ほぼ6年振りの水準に低下したことが嫌気され、レアルは一気に反落、週間安値となるUS\$1=R\$2.2440まで下値を拡大した。しかし利益確定と思しきドル売りエマージング通貨買いが見られると、レアルもじりじりと2.21台半ばまで回復した。
- ・ 週末にかけては米国市場が祝日で休場となったほか、ワールドカップ大会ブラジル戦の影響からレアル相場の流動性は極めて低く、限定的な値動きとなった。レアルは2.21台前半で推移した後、結局US\$1=R\$2.2150で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A**5.来週発表される主要経済指標**

日付	イベント	期間	予想	前回
7/7	自動車生産台数(ブラジル自動車工業会)	Jun	--	282.465
7/7	自動車販売台数(ブラジル自動車工業会)	Jun	--	293.362
7/7	自動車輸出(ブラジル自動車工業会)	Jun	--	35.162
7/7	貿易収支(週次)	jul/06	--	--
7/8	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Jun	-0.63%	-0.45%
7/8	FGV CPI IPC-S	jul/07	0.35%	0.33%
7/8	IBGEインフレ率IPCA(前月比)	Jun	0.39%	0.46%
7/8	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Jun	6.51%	6.37%
7/10	IGP-M Inflation 1st Preview	Jul	-0.23%	-0.64%
7/11	FIPE CPI-週次	jul/07	0.06%	0.03%

6.来週の為替市場注目点**予想相場レンジ : 2.18—2.25**

今週は伯中銀がドル売りスワップをどの程度ロールするかを伺う投資家が多く見られたほか、米経済指標の予想を上回る結果からドル買いに拍車がかかり、エマージング通貨の売りが見られ、レアルも約 2 週間振りの水準まで下落する展開となった。しかし米雇用統計の良好の結果のみでは米 FRB の利上げ判断には不十分であるとの見方もあり、ドル買いポジションを立てた投資家は一旦利益確定のためドル売りに転じたと考えられる。来週にかけては大きな材料になりそうなイベントや指標は少ない中、引き続き中銀の為替介入スタンスを試す動きが見られるだろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department